

# しづ老施協

No. 29

平成22年10月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館内

TEL 054-653-2311 FAX 054-653-2312

E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

## 巻頭言

## 「老施協副会長に就任して」



静岡県老人福祉施設協議会

副会長 松本琢也

私は今年度四月より、三重野前副会長の後任として静岡県老施協副会長に就任いたしました。もとより荷が重く、とてもその重責を負う自信はありませんし、会員の皆様にご迷惑をお掛けすることがあると思いまが、精一杯尽力して参りたいと思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

私は平成三年十月に当時の大井川町に開設した大井川睦園の施設長に就任しました。それから十九年が経過いたしましたが、今年度当施設で

採用した高校卒業の介護職員は平成三年と四年生れでしたから、ああそんなんに経つたのだなあと感じました。

この十九年間には特養に関して大きな変革がありました。古い話で恐縮ですが、思い起させば平成三年当時は措置費制度によって特養が運営されていました。その当時はほとんど誰もが、この措置費制度は半永久的に続く制度だと思っていたのではないでしょうか。介護保険開始以後に特養に就職された方には想像もつかないでしようが、福祉的で窮屈だけれども安定した制度でありまして、その制度に浸りきっていたことを覚えています。その制度の中では妙な安心感があり、将来に対する不安はあまり感じなかつたものです。

ところが制度というものは変化しますねえ、何時までも続くどころか準備期間もそこそこに平成十二年度から介護保険制度に変わりました。更に介護保険制度になつてからも介護予防やら地域包括支援センターやら大きな改定が続いています。これらどうなつていくのでしょうか。人手不足が今後も確実に続くであろう中で、健全に施設運営が継続出来か不安な状況です。諸問題が山積みです。

しかし、先行き不透明なときは原点に帰る、というか原則を大事にしなければならないと考えます。我々の仕事で一番大切なことは「良い介

護サービスの提供」だと思います。さらに、ほぼ全ての業種に亘つて経営環境が厳しいわけですから、これに「効率的な」を付けなければならぬと思いますが、これから先々を考えると心配事は尽きません。

ところで私は「山より大きな猪は出ない」という格言でしようか、この言葉が好きです。もともと恐がりな性格ですから、心配事があると自分で勝手に想像を膨らまして必要以上に萎縮・逃避したりします。しかし幾ら猪が大きかろうと、その猪が住んでいる山より大きな事は無いと腹を括れば、何とかなるのではないかと思うように努力しています。

また「過去と他人は変えられない」という言葉も常に心の中に留めています。過去の失敗や後悔を覚える事象も変えようがなく、同じように他人も変えることが出来ないとの意味でどうか。私はネガティブな意味でなく、過去にとらわれ続けても仕方が無いし、変える事の出来ない他人を頼るよりもまず自分の考え方や行動を変えることから始めなければならぬ、と時々自分を励ましていきます。

まつたくもつて非力ですが、会員の皆様方のご協力を得て、老施協の発展に少しでも貢献したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

（ 特別養護老人ホーム  
「大井川睦園」 施設長 ）

**特集一** 「第二回静岡県高齢者福祉研究大会を終えて」

七月二十日、昨年を上回る約八百七十名が参加して、静岡市内グランシップを会場に、第二回静岡県高齢者福祉研究大会が盛大に開催されました。介護の現場で処遇に携わる職員の皆さん熱意、奮闘が伝わる素晴らしい大会でした。その状況を実行委員長アンケートで上位になつた発表者から報告させていただきます。

**職員の向上心が**

**大盛況を生みました**

実行委員長  
三重野隆志（小鹿苑）

日頃の実践で感じたことや工夫したこと、試行錯誤したこと、そして研究したことなどを、現場の職員同士が直接語り合おうと五年前に始まつたのが「ボスター・セッション」でした。「施設サービスの交流発表会」との名称が付いていました。いよいよしても、二十一世紀委員会の方たちの熱心且つ木目細かい準備により開催ができたものでした。

第一回目が平成十八年二月九日（木）静岡市民文化会館で、三十一人

年一月二十三日（金）静岡市民文化会館で開催されました。  
その後、ボスター発表からパワー・ポイントでの発表となり、名称も「静岡県高齢者福祉研究大会」として新たな形態となりました。研究大会第一回が平成二十一年八月四日（火）シズウェルで六十六題の発表で開催されました。この時、会場が狭くて入りきれない人で溢れました。その経験を活かし、第二回はグランシップで開催しようとすぐに予約をしました。ワンフロアだと移動も楽だ借りられる日、七月二十日（火）に、八生会、炉暖の郷、灯光園と開催することにしました。

今回も発表エンタリーガー当初思わず思われたので九階ワンフロアを開催することにしました。

その後、第二回が平成十九年一月十九日（金）グランシップで、第三回が平成十九年十一月九日（金）グランシップで、第四回が平成二十一

年一月二十三日（金）静岡市民文化会館で開催されました。

急遽会場を変更せざるを得なくなつたりして、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。  
発表が六ブロックの並行進行でしたので、すべて聞いても六分の一しか聞けません。ですので、昨年に引き続き県老施協のホームページに全部のパワー・ポイントを掲載し、会員施設の皆様に活用していただければと考えております。

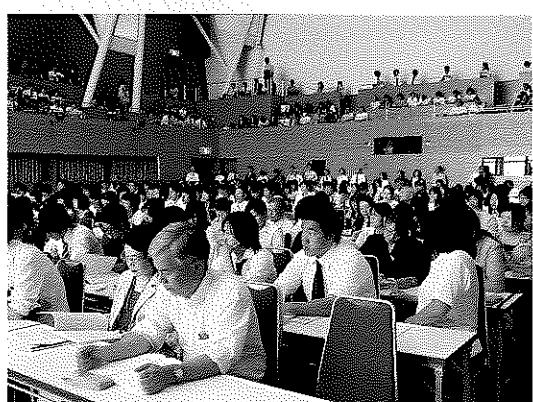
各施設職員の皆様方がこの研究大会をおとして連携が生まれ、業務の向上に役立てばと願っています。

**参加者アンケート集計結果**

当日のアンケートご協力ありがとうございました。（回収数394）

「研究発表の中で最もよかつた演題」のベストテンは次のとおりです。

順位	施設名	タイトル
1位	第二遠州の園	最後の食事がもたらしたもの
2位	こもれび	利用者様に喜ばれる「ソフト食」
3位	萬松の里	アセスマントから得た認知症入居者と介護職員の心の変化
	ヒューマンヴィラ伊豆ディ	「脳のお手入れ」で笑顔とやる気を取り戻そう!!
5位	八生会	八生会 職員研修
	炉暖の郷	これイーラ？（いいでしょ？）～余暇よか♪～
	灯光園	パワーリハビリの取り組み
8位	ヴィラージュ富士	食べたいのに、何で取っちゃうの？
	灯光園	ユニットからの報告
	ふじトピア	職員のスキルアップを目指して！
	清水松風荘	メンタルコミットロボット「パロ」とのふれあい
	竜爪園	ポジショニングの取り組み～今起きていることの見直し
	第二長上苑	その人らしい生活のために



## 研究発表を終えて

特別養護老人ホーム 第二遠州の園

ユニットリーダー 小杉 淳

### 「最後の食事がもたらしたもの」

今回発表した目的の一つには、「職員に自信を持つてもらいたい」という思いがありました。自分たちがしてきましたことを言葉で伝え、いろいろな人の声を聞き、評価ではなく、共感をしてもらう、それが自信につながると考えました。発表では、緊張してしまい、すべての内容を伝えることはできませんでしたが、少しは共感を得られたのでは?と思ひます。

発表するテーマを考えたとき、ユニットケアを始めて一年でどれだけ内容のあることを伝えられるだろうと悩みました。しかし、一年だからこそ伝わることがあるのではないか、私が一番重要だと考える『食事』を取り迎えます。入所以前はヘッドギアを着用されていましたが、当施設では身体拘束ゼロを謳っていること、病院ではなく生活の場であることなどをご家族と話し合い、「その人らしく過ごしていただく」ことを

ケア目標とし、制限のない普通の暮らしを目指すことにしました。

転倒防止のために、居室内での動線を短くし、他のユニットにも協力をしてもらいましたが、二度目の転倒により、ベッドでの生活となりました。

「その人らしく」を目標としましたが、「本当にこれでいいのだろうか? いまの生活に満足してもらえているのだろうか?」何度も悩み、話し合いました。その結果、今までどおり「普通の暮らし」を目指し貫き、ご家族にも満足していただけた看取りとなつたと思います。

退園され半年が過ぎたいまでも、職員間でご本人の話が出ることが多くあります。「いま考へても、後悔はない」「メロンパンがあそこまでのことになるとは思わなかつた」など、いまでも職員の大きな自信になつているのは確かです。

最後に、私がユニットリーダーとして二年目を迎えることができたのは、ユニット職員の強い心の支えがあつたからです。ユニットトライアーチをテーマとし、事例発表としました。

対象者は入所からわずか半年で看取りを迎えます。入所以前はヘッドギアを着用されていましたが、当施設では身体拘束ゼロを謳っていること、病院ではなく生活の場であることなどをご家族と話し合い、「その人らしく過ごしていただく」ことを

特別養護老人ホーム こもれび  
管理栄養士 山梨久江

### 『利用者様に喜ばれる「ソフト食』』

こもれびの立ち上げから携わつて五年目となります。介護施設での経験が浅い私ですので、最初は食形態から食札の形式・日誌・検食簿等試行錯誤を重ねました。

食形態については食材を細かめにしていけばよいのかと思い、「一口大・きざみ・超きざみとしていき、粒がだめな方はミキサーにかけるという形態にしました。

一年目に黒田るみこ先生の「ソフト食」の研修を受講して、きざみ食は誤嚥しやすいということを聞き、シヨックをうけました。受講後、施設の委託先調理師に相談して少しずつ改善していくことをしましたが、なかなかか思ひ通りにはいきませんでした。

二年半過ぎ、委託先の所長が経験豊富な方に変わり「ソフト食」の話をしたところ、前任の施設で少しずつ取り組んでいたといふことなどで、この施設でもやつていこうということになりました。食材や調理方法によつて固さや食感が異なります。試行錯誤を繰り返してどうにか形が出来上がりりました。

写真を撮つて記録に残しました。

見た目が良くて食欲をそそる食事を目指して日々検討しました。

この成果を他所の方にも知つてもらいたいと、発表することにしました。発表当日は、部屋に入りきれないと話しても「一番の楽しみは食事だよ」という答えがほとんどです。私も、最後まで口から食べてもらいたい、食べたいと思つています。当施設では食を楽しむということでも、ソフト食以外にもいろいろな工夫をしています。月一回のにぎり寿司の日・全国各地の郷土料理・季節ごとの行事食など盛り沢山です。食の楽しみの提供が利用者様にとって一番のことだと思います。今後は栄養管理はもとより、楽しく美味しい食事の提供に重点をおき、利用者様と関わりを持っていきたいです。

この成績を他所の方にも知つてもらいたいと、発表することにしました。発表当日は、部屋に入りきれないと話しても「一番の楽しみは食事だよ」という答えがほとんどです。私も、最後まで口から食べてもらいたい、食べたいと思つています。当施設では食を楽しむということでも、ソフト食以外にもいろいろな工夫をしています。月一回のにぎり寿司の日・全国各地の郷土料理・季節ごとの行事食など盛り沢山です。食の楽しみの提供が利用者様にとって一番のことだと思います。今後は栄養管理はもとより、楽しく美味しい食事の提供に重点をおき、利用者様と関わりを持っていきたいです。



## 特集二 「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員によるケア連携協働について」

平成二十二年四月一日、厚生労働省から一定の条件の下に介護職員によるたんの吸引等を特別養護老人ホーム全体に許容する旨の通知が発せられました。また、国の中研修に参加された青島福寿園施設長から、研修の様子と合わせて施設内の連携について、報告していただきました。

### ケア連携協働への取組について

特養部会部会長

青野容幸（おおすか苑）

平成二十二年四月一日より特別養護老人ホームにおいて、一定の条件の下ではありますが、介護職員による医行為の一部が認められました。

受入を一定程度に止めざるを得ない施設もあることを指摘しています。今回検討会の中では、介護職員が医療関係者との連携の下では相対的に危険性の低い行為であり、看護職員が特に手薄となる夜間において行われる頻度の高い

① 口腔内のたんの吸引  
② 胃ろうによる経管栄養

このことは、約一年前より特別養護老人ホームにおける介護職員と看護職員の連携によるケアの在り方に関する検討会において討議され、モダル事業の実施と結果報告を経て認められたものです。報告書では、近年老人ホームにおける介護職員と看護職員が連携協働することで、救命救急を要するような事故はなく、概ね安全に行なうことができました。さらに、看護職員と介護職員の相互理解と連帯感が強まり、連絡体制が整備され、介護職員が入所者に対する健

康状態等について看護職員に相談しやすくなつたといった効果が報告されています。このような結果をふまえて、口腔内のたんの吸引、胃ろうによる経管栄養については、看護職員が増加している現実がある以上、ケ

員と介護職員が連携協働することによつて医行為を行うことが認められたものです。但し今回許容された二つの医行為は、法的に介護職員に認められたものではなく、看護職員の十分な配置を短期間に行なうことが難しいこと、医療の安全が確保されるような一定の条件下ではやむを得ないということがあります。ケア連携協働等の実施要件の下、たんの吸引等の二点に限つて違法性が阻却されるということで認められたものです。

ア連携協働による医行為を実施していく必要があると考えます。

今回介護職員に対しても、一定の条件下での医行為が認められたことは、セーフティネットとしての機能を果たしていく特別養護老人ホームにとって、重要なことであるため、まずは体制を整備して、医療的ケアが必要な利用者の方も、受入可能にしていくことが必要であると考えます。また安全性を確保するために恒常的に看護職員と介護職員が連携して研修を行い、一定の技術水準を確保する必要があります。現在特別養護老人ホームには多くの待機者の方がおり、医療的なケアを必要とする方も増加してくると思われます。介護職員による医行為については、今年度からさらに進んだ検討が行われており、試行事業も始まるところであります。

これからは法的な整備がすすみ、介護職員のできる範囲も変わってくると思いますが、社会にとつて必要な施設であるために、社会のニーズに応えていくことが重要であると考えます。このため施設全体としての体制の整備が必要であると思われます。

特別養護老人ホームは、医療提供を主目的とした施設ではありませんが、医療的ケアを必要とする入所者が増加している現実がある以上、ケ



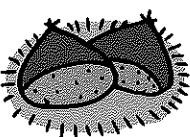
## ケア連携協働のための 研修について

研修について

先日、東京で行われたケア連携の中央研修会に、西部支部の看護師を代表して参加してきました。看護の現場を離れてしばらくになることもあり医学的な基礎知識・技術の講義に新鮮な気持ちで耳を傾けました。医療現場では、処置を行う時の動作ひとつひとつに科学的根拠を持たせた手順が作成されていて、教育・訓練を重ねることで「プロの技」として技術を身につけて来た事を思い出しています。介護の現場でも、感染予防や事故防止などの安全管理、腰痛予防を考えた新しい介護技術など、科学的根拠に基づく手順書の作成と、職員の教育・訓練が求められているところですが、特養は利用者の生活の場であるという思いから、ついつい曖昧になつてきている現状を反省する良い機会になりました。



県内研修の状況（西部地区 22.9.2~3）



すみ分けをどう考えるのかと言ふ議論も出て来るかと思います。しかし、医療的処置に頼らなければならぬ利用者が増加している現状で、標題の2つのケアにこだわらず、医療関連ケアをより安全かつ適切に提供するため、看護職員と介護職員がどのように連携協働するのか、また、医療関連ケアを提供する上で整えなければならない安全管理体制について見直す機会にすることができればと考えています。

## 新加入施設紹介

平成二十二年十月一日現在



### 特別養護老人ホーム ぶなの森

法人名 社会福祉法人「函要会」  
開設日 平成17年8月1日  
(入会申込 平成22年4月1日)  
所在地 田方郡函南町仁田284の5  
施設長 佐藤政幸  
入所定員 80名  
デイサービス 40名  
短期 10名

### 特別養護老人ホーム

#### 釜山・ぶなの森

法人名 社会福祉法人「函要会」  
開設日 平成21年6月5日  
(入会申込 平成22年4月1日)  
所在地 伊豆の国市釜山山木391-1  
施設長 杉山 肇  
入所定員 70名  
デイサービス 20名  
短期 10名



## 施設名称の由来と想い

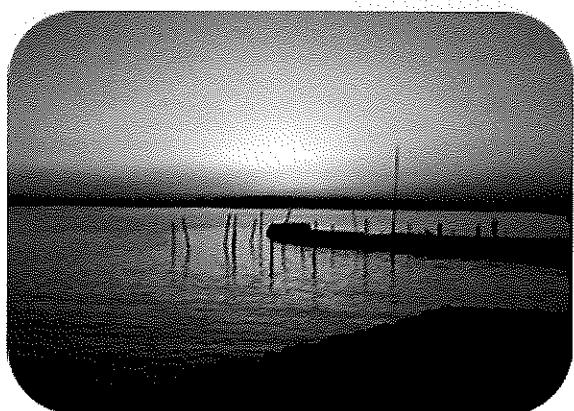
社会福祉法人遠淡海会  
特別養護老人ホーム 神久呂の園



施設長 水谷 博

「遠淡海会 神久呂の園（えんたんかいかい じんくろのそん）ですか？」とよく訊ねられます。「難しい名称で申し訳ありません。正しくは遠淡海会（とおつとうみかい）神久呂の園（かくろのそん）と申します。」とお答えする度々あります。社会福祉法人「遠淡海会」は前理事長水谷千歳・ひさ夫妻が昭和四十九年に創設し、これを母体として親の愛情に恵まれない乳児を養育するため県西部地区に初めて浜松乳児院を設立しました。「遠淡海（とおつとうみ）とは、都（京都）から遠いところにある淡海（あはうみ）（湖水）という意味で、往昔の浜名湖の呼称です。幼い頃に両親を亡く

した前理事長は、幼少時代、浜名湖畔のお寺の小僧さんとして修行に励み、朝夕には四季折々の浜名湖の自然を眺めながら両親を偲んだ思い出を詩に詠んでいます。



夕暮れ時の浜名湖

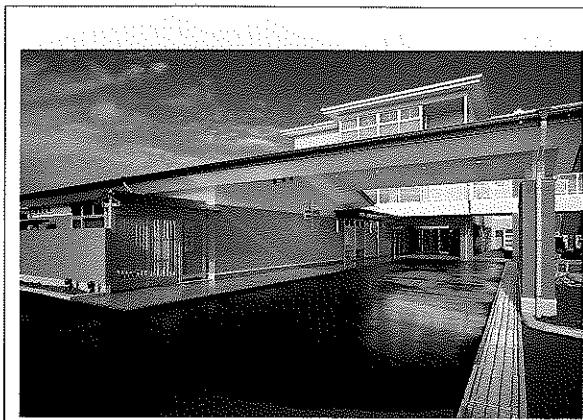
合併された地域の名称で、浜松市の西区に位置し、人口一一、六九三人、うち六十五歳以上の高齢者人口は二、八八五人で高齢化率は二四・七%（平成二十二年四月一日現在）の地域です。

このような名称に由来する当法人では「良き雰囲気づくりと成長」を施設運営の基本としています。『煮えたぎったお湯の中に投じられた水は、たちどころに熱湯と化しますが、施設においても、土地、建物、設備及び人等によって醸し出される施設の雰囲気は教えるとか指導するとかではなく、自ずから周りをその色合いに染め上げ育てます。従って、施設に勤務する職員は、施設の敷地、建物、設備そして職員一人ひとりが良き雰囲気づくりの要素としてふさわしくあるように日々心掛け、自らの成長に努めましょう。』

前理事長は故郷の浜名湖に因み、法人名を「遠淡海会」と命名しました。「神久呂（かくろ）」地区は、神ヶ谷（かみがや）町、大久保（おおくぼ）町、志都呂（しどろ）町の三つの町名からそれぞれ一字ずつ組み

「あたたかき 母の育み思ほゆる  
我が生い立ちし 浜名の淡海」

家族の絆や地域の連帯感の喪失が話題となり、また今後ますます少子高齢化が進行していく中で、乳幼児や高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、また、地域の福祉サービスの向上に少しでもお役に立てるよう、遠淡海会の職員一人ひとりが「良き雰囲気づくりと成長」を心がけ、努めてまいりたいと思いま



特別養護老人ホーム

### ほたるの丘

法人名 社会福祉法人「大心会」

開設日 平成20年10月1日

（入会申込 平成22年4月13日）

所在地 島田市阪本2449-2

施設長 丹野啓二

入所定員 100名

短期 10名

**新加入施設紹介**

平成二十一年十月一日現在

当施設は、ユニット型地域密着型介護老人福祉施設として、富士市中里に産声を上げ、二年半を経過します。

多くのご利用者様、ご家族様は、実際に多重の悩みや思いを持たれて入居されます。私達は、理事長の福祉に対する理念を心に刻んで日々接遇にあたっております。ご利用者様に寄り添い、無理なく、自分らしい時間の流れを気づかせてくれる職員に、思わず笑顔がこぼれ、面会に来られるご家族も安心して帰られます。

そして何よりも、主治医の先生との担当者会議の存在が、安心、安全、安寧の目安になっているようです。

ある日、地域の皆様をお招きしての医療についての勉強会をお願いしましたところ、快く引き受けてくださり、今でも「なかざと勉強会」を開催しています。

多くのご利用者様、ご家族様は、実際に多重の悩みや思いを持たれて入居されます。私達は、理事長の福祉に対する理念を心に刻んで日々接遇にあたっております。ご利用者様に寄り添い、無理なく、自分らしい時間の流れを気づかせてくれる職員に、思わず笑顔がこぼれ、面会に来られるご家族も安心して帰られます。

そして何よりも、主治医の先生との担当者会議の存在が、安心、安全、安寧の目安になっているようです。

ある日、地域の皆様をお招きしての医療についての勉強会をお願いしましたところ、快く引き受けてくださり、今でも「なかざと勉強会」を開催しています。

多くのご利用者様、ご家族様は、実際に多重の悩みや思いを持たれて入居されます。私達は、理事長の福祉に対する理念を心に刻んで日々接遇にあたっております。

多くのご利用者様、ご家族様は、実際に多重の悩みや思いを持たれて入居されます。私達は、理事長の福祉に対する理念を心に刻んで日々接遇にあたっております。

近隣の方々が四十人以上もおいでいただいております。地域の皆様の笑顔と、「今まで敷居が高くて、でも良いところと分かつてよかつたよ」と話している姿は、地域に溶け込み、地域のお役に立てる施設になりましたあるかな、と思えた瞬間もありました。

「足湯」の利用についてご紹介させていただきます。施設の玄関先にあるゲルマニウム鉱石の足湯を、地域の予防介護教室の皆様にもご利用いただいております。昨年度、ご利用しやすいうように、と巻き上げ式の風除けを設置しました。大変好評でよかったです。



理事長のお考えのもと、敷地内の広場は、グラウンドゴルフに、こども達の遊び場に、町内会との共催の盆踊りに、と様々に活用しています。私ども富士厚生会は、介護保険制度における事業と同時進行するかのごとく、地域に溶け込み、地域福祉の中核を担っていく使命をも重視し、運営、経営にあたっております。

休日には、ホーム前の広場でグラウンドゴルフに興じる方がおいでになり、時に、入所者の皆さんに手ほどきをしてくれます。「施設長さん、ゴルフの後、足湯を貸してくださいね。何かあつたら施設にお世話をになりたいですよ。家の近くにあってよかつた。」などと、話してくださいます。

した。

### 特別養護老人ホーム 一本松

法人名 社会福祉法人「大乗会」  
開設日 平成21年6月3日  
(入会申込 平成22年5月26日)  
所在地 沼津市一本松175  
施設長 木下敏行  
入所定員 80名  
デイサービス 20名  
短期 10名

### 新加入施設紹介

平成二十一年十月一日現在



「料理クラブのたのしみ」

養護老人ホーム  
清水松風荘

昨年度、料理クラブを新設しました。男女を問わず、スーパーでの食材の買い出しから、調理、片付けまで一日かけて行います。

今まで作ったのは「餃子・カレー・ライス・牛丼」など、園芸クラブで作った野菜を利用しての料理にも挑戦し、納涼祭ではデザートの屋台も出店しました。これからも新しい料理にチャレンジします。

活動報告

- 活動報告**

**★ [老施協]**  
二十二年七月二十日、第二回高齢者福祉研究大会を開催、参加者約八百七十人  
彰候補者の承認、高齢者福祉大会開催結果報告、特養におけるケア連携協働研修、県委託事業、県介護労働負担軽減促進事業、県歯科保健計画策定部会への委員参画、当面の研修計等について協議

**★ [特養部会]**  
理事会 二十二年六月二十一日、概況調査、ケア連携研修、部会の在り方にについて協議

**★ [理事会]**  
二十二年八月十日、特養におけるケア連携協働研修事業、部会の在り方について協議

**★ [二十二年九月三日・三日、看護・介護ケア連携協働研修(東部)]**  
看護職員参加者五十八人

**★ [二十二年九月九日・十日、看護・介護ケア連携協働研修(西部)]**  
看護職員参加者六十人

**★ [二十二年九月十六日・十七日、看護・介護ケア連携協働研修(中部)]**  
看護職員参加者五十一人

**★ [企画経営委員会]**  
二十二年六月十八日、高齢者福祉研究理事会  
二十二年六月二十二日、部会在り方、研修の取組等について協議

**★ [在宅事業部会]**  
二十二年六月十八日、高齢者福祉研究の在り方、研修の取組等について協議

**★ [研修委員会]**  
二十二年七月七日、高齢者福祉研究大會実行委員会、21世紀委員会、企画経営委員会との合同・拡大会議。全体スケジュールと役割分担、班別業務について協議

**★ [21世紀委員会]**  
二十二年六月十五日、高齢者福祉研究大會、研修計画、今後の事業取り組み等について協議

**★ [感染・危機管理研修]**  
二十二年八月六日、職員研修会「防災・社会館にて開催、百六十人が受講」

**★ [21世紀委員会]**  
二十二年六月十四日、高齢者福祉研究大會の骨格について協議、今後の委員会活動について意見交換

**★ [高齢者福祉研究大会実行委員会]**  
二十二年七月七日、高齢者福祉研究大會実行委員会、企画経営委員会、研修委員会との合同・拡大会議。全体スケジュールと役割分担、班別業務について協議

**★ [修会]**  
二十二年八月二十七日、接遇マナー研修会を静岡音楽館A.O.Iで開催、参加者二百二十一人

**★ [施設間交流研修]**  
二十二年八月二十七日、施設間交流研修等について協議

編集後記

梅雨明けと同時に異常な高温、これは世界的な現象のこと。この中で名古屋場所も異常、選挙もねじれた。高校球児の熱戦と「現場からの声」と頑張つたことが少し涼を得た、というところか。七月二十日に開催された研究大会、暑い一日に大勢の参加があり、研究発表された方々に「ご苦労さまでした」とお礼申し上げます。  
猛暑が続いている今年の夏ですが、施設の利用者さんは、エアコンで温度管理された部屋で過ごされていて、暑さ知らずの生活です。

でも、異常気象で一番被害を受けるのは、やはり高齢者です。職員は汗をかいてお年よりの健康管理に日々往來、熱中症にからないよう、水分補給を利用者さんと自分の為に。（澤田）百歳以上の行方不明者が全国で三百人を越えました。予想されていたとは言え驚きの数です。しかし、これが九十年以上の調査だつたら果たしてどれくらいになるのでしょうか。超高齢社会を迎え、今後一層重大な社会問題としてクローズアップされることでしよう。高齢者を支える役割を担うものとして、とても空しさを感じます。（山中）

の検討、発表申込状況、要員態勢について意見交換  
二十二年七月七日、21世紀委員会、企画経営委員会、研修委員会との合同・拡大会議。全体スケジュールと役割分担、班別業務について協議